

令和5年度「学ぶ力」育成プログラム

学校番号：27012
学校名：西野小学校

改訂のポイント

- 学習習慣や基礎基本の定着を図り、自信をもって他者と関わり自分らしさを発揮できる姿を目指す。
- 自分の考えをしっかりと表現する力を高めることで、自ら学びを深めていく姿を目指す。

項目名	項目内容	項目内容の具体		
目標	「学ぶ力」の育成に係る目指す子ども像	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 自ら疑問や課題をもち、主体的に解決できる子ども ☆ 「分かる」「できる」喜びを実感し、「生き生き」「のびのび」自分を出し学び続けようとする子ども 		
「学ぶ力」に関する成果や課題	主体的に学習に取り組む態度	【昨年度の具体的な取組】 ○自ら疑問や課題をもち、見通しをもって問題解決することができる授業の工夫改善	【成果】 ⇒「自分から学習に取り組んでいる」が89%いる。(学習などについてのアンケート)	【課題】 ◇意欲的に学ぶ子どもが多く、今後も授業における課題設定の工夫や、ICTの効果的な活用をしていく必要がある。
	思考力・判断力・表現力等	【昨年度の具体的な取組】 ○交流の場を設定して、分かりやすく伝え合って問題を解決する授業の工夫改善	【成果】 ⇒「自分の考えをはっきり話している」が83%いる。(学習などについてのアンケート)	【課題】 ◇同アンケートの教職員の回答は、肯定的な割合(A・B)は83%と児童と同様だが、「Aできている」の割合が0%であることから、伸びしろを感じていることが分かる。自分の考えをもち、表現する機会が必要である。
	基礎的・基本的な知識及び技能	【昨年度の具体的な取組】 ○TT、少人数指導、習熟度別指導を有効活用した個別支援の充実 ○家庭学習の内容、課題の工夫	【成果】 ⇒TT、少人数指導などにより、基礎基本の定着を図ることができた。 ⇒「毎日家庭学習をしている。」が81%いる。(学習などについてのアンケート)	【課題】 ◇同アンケートで「(どちらかといえば)していない」の割合が19%いる。より一層、学習習慣の定着を図る必要がある。
今年度の具体的な改善策(取組)	取組の最重点	【取組の共有】 「もっと～たい」という主体的な姿が生まれる授業づくり		
	具体的な改善策(取組)	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもから「もっと～たい」という主体的な姿が生まれる授業改善 <ul style="list-style-type: none"> ・1人1実践の授業研究 ・ICTを活用した実践の交流などの研修 ・表現する場の設定 ○学習習慣や基礎基本の定着 <ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習の取組方や具体例の提示 ・お便りや懇談会での保護者への働きかけ ・学習を価値づけて、意欲を高める取り組み ○9年間の連続性のある教育推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ブロックを足場とした研究体制で学びの積み上げを意識した授業づくり ・中学校との授業見学交流など 		
検証の方法	各種調査や子どもの自己評価指標の活用	<ul style="list-style-type: none"> ○各教科等の評価規準に基づく学習状況評価結果の活用(日常のテストやノート、観察等) ○全国学力・学習状況調査結果や「学力テスト、知能テストとの相関を含む結果」の活用 ○札幌市全体の共通指標(子どもの自己評価)、「児童アンケート」の活用 		